

ともに声をあげ、つながり、たち上がろう！

3.11 原発事故から3年を前に、福島を切り捨てていく動きが強まっている。

海も山も、すべてを放射能で汚染し、何もかも奪っておきながら、国も東電も一切責任を取らない。そればかりか、原発事故などまるでなかったかのように、「おもてなしの東京オリンピック」「原発は重要なベース電源だから再稼働」「原発の輸出は経済成長の柱」…。もういい加減にしてほしい！



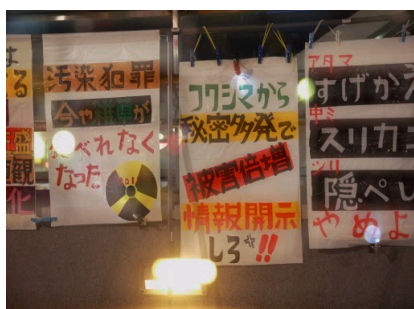
今もなお15万人が避難生活を強いられている。「震災関連死」が増え続け、仮設住宅や借り上げ住宅での暮らしはすでに限界を超えている。

原発事故も収束どころではない。高濃度の汚染水が漏れだし、海へ流出している。溶融した核燃料は放置されたままで、毎時1000万ベクレルもの放射能が流出している。何千億円も税金を注ぎ込んで、東京オリンピックなどやっている場合だろうか。

小児甲状腺がんが多発している。大変な事態が起きている。

しかし、県は「原発事故との因果関係は認められない」と言っていて、真実を押し隠そうとしている。安倍首相は「原発事故による放射能被害は、現在も将来もない」とデタラメを言って、原発事故による健康被害を闇に葬ってしまおうとしている。

国も県も、原発再稼働と輸出、オリンピック開催のために、住民の声を封じ、医療を脅かし、命と健康を奪おうとしている。



国は避難区域を再編し、放射線量の高い地域へ住民を帰還させようとしている。補償を打ちきるためだ。JRは、常磐線を竜田まで延伸し、労働者と住民に被曝を強制しようとしている。

将来、健康被害が出ると分かっているが、住民を帰還させるとはどういうことか！ 子どもたちに被曝を強いるとはどういうことか！

もう黙っておれない！ 許さない！ ともに声をあげよう！

NAZEN賛同会費

★年会費 2,000円

(毎月、通信を送りたいします)

●郵便振替口座 00120-8-763817

すべての原発いまずなくそう！全国会議



福島診療所基金

●郵便振込口座 02200-8-126405

福島診療所建設基金

●銀行口座

福島銀行 本店 (110)普通 1252841

福島診療所建設基金 代表 渡辺 馨

